

# 一般社団法人やまぐち GIS ひろば 第9回 GIS フォーラム レポート

2024/ 11/ 1

一般社団法人やまぐち GIS ひろば  
事務局 弘中淳一

- (1) 日時：2023/ 10/ 15(火) 13:00～17:00 (GIS 講演会、懇親会)  
2023/ 10/ 16(水) 10:00～16:00 (QGIS 講習会)
- (2) 場所：KDDI 維新ホール (〒754-0041 山口県山口市小郡令和1丁目1-1)
- (3) 主催：一般社団法人やまぐち GIS ひろば
- (4) 後援：山口県、山口県教育委員会、山口市、山口大学、  
大阪大学先導的学際研究機構 住民と育む未来型知的インフラ創造部門  
未来インフラ創造拠点  
([山口きらめき財団 助成金事業](#))
- (5) 協力 (法人会員) [株式会社常盤商会](#)、[株式会社ニュージャパンナレッジ](#)、  
[UICコンサルタント株式会社](#)

## 【来場者数】 ※スタッフ、講演者込み

- ・ 10/15 (火) GIS 講演会 74 名、懇親会 16 名
- ・ 10/16 (水) QGIS 講演会 (午前)34 名、(午後)29 名 ※うち講習者 23 名

## 【会 場】 KDDI 維新ホール外観



## (1)10/15 (水) 「GIS 講演会」



【司 会】ボアブラン 池田美和子



【開会挨拶】一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事 堀 敬史



【基調講演】（以下、リンクはご講演資料関連）

[2023年に山口県の厚狭川・榎野川流域で発生した水害の特徴](#)

一般社団法人やまぐち GIS ひろば 副理事長 山本 晴彦（山口大学特命教授）



山本副理事長は、気象防災学が専門であり、山口県が強風災害に見舞われた 1991 年の台風 19 号から現在まで、三十数年にわたり 80 件を超える風水害の調査研究を進めており、令和 2 年にはわが国における気象防災学の第一人者として、防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞しています。

【講演 1】 [オープンソース防災教育 AR アプリ開発と地域防災での活用](#)

大阪公立大学 大学院情報学研究科 准教授 吉田 大介



吉田先生は、同大学の都市科学・防災研究センターにも所属し、防災士の資格も取得しています。専門は空間情報学で、AR アプリの取り組みに加え、ドローンのデータ活用に関する研究を自治体と連携して進めておられます。

## 【講演 2】 [QGIS・オープンデータを活用したマップ製作](#)

北海道 喜多 耕一



喜多（きた）様は、QGIS の解説本「業務で使う QGIS バージョン 3 完全使いこなしガイド」の著者で、北海道庁の林業技師でいらっしゃいますが、オープンデータに詳しく、令和 4 年度まで北海道のオープンデータを担当されていました。現在も、北海道庁で地図データの使い方や、QGIS の普及を行われています。

## 【QA・討論コーナー】～ GIS で奏でる地域防災～

<司 会> 一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事・事務局長 弘中 淳一

<パネリスト> (講演者) 山本 晴彦、吉田 大介、喜多 耕一

一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事長 三浦 房紀



大阪公立大学 吉田 大介



北海道 喜多 耕一



一般社団法人やまぐち GIS ひろば  
副理事長 山本 晴彦



一般社団法人やまぐち GIS ひろば  
理事長 三浦 房紀



【閉会挨拶】一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事・事務局長 弘中 淳一



## (2) 10/16 (水) 「QGIS 講習会」

(午前) Tips 紹介・QA コーナー



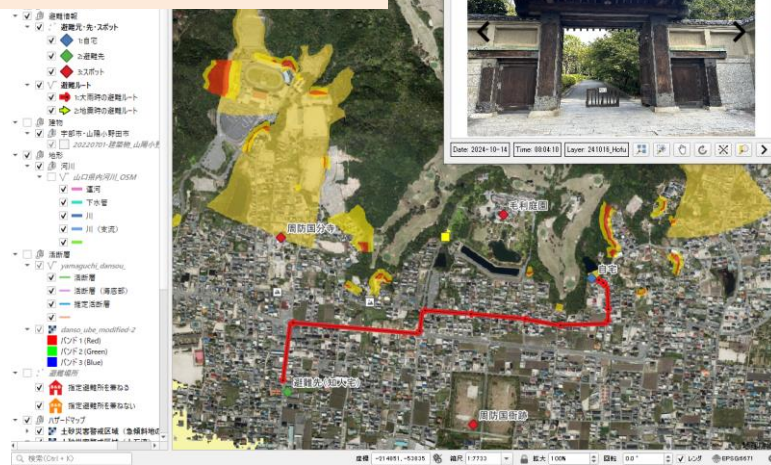
【講師】北海道 喜多 耕一 ([QGISによる分析](#)、[登記所備付地図について](#))



(午後) QGIS 講習会 【講師】 やまぐち GIS ひろば 理事・事務局長 弘中 淳一



QGIS で製作した地域マップ  
(発表例：リンク)



### 【所感】

GIS マーケットも「[デジタルツイン](#)」「[PLATEAU](#)」に代表される 3D の時代へ突入し、これを地域防災にどう生かしてゆくかを考える中で、吉田先生のご講演により、3D の視覚的効果は、学校、地域への波及効果が高いことを実感した。また“聴くよりも触れる”の要望を受け、思い切って QGIS 講習会を再企画した。全国第一人者の喜多さんを招待し、地域自らが電子地図を作り、地域防災に生かすきっかけを狙った。以前開催した QGIS 講習会は、防災士さんに「難しい」と言われたため、極力シンプルな内容としたが、参加者のレベルがまちまちであったこともあり、防災士さんにはやはり難しかったようだ。これを受け、11 月には数名の防災士に絞り補講を実施することとした。地域防災に GIS を活用するハードルは高いが、地域の方々の協力も得ながら、粘り強く行ってゆきたい。

おかげさまで本 GIS フォーラムも無事終了し、関係者のご協力に深く感謝いたします。

以上